

うと市議会だより

編集 / 議会だより編集委員会
発行 / 宇土市議会 令和4年8月1日発行
宇土市浦田町51番地
TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313
<https://www.city.uto.lg.jp/>



紫陽花マンドリンコンサート

6月12日、住吉自然公園で「第29回紫陽花マンドリンコンサート」が2年ぶりに開催されました。多くの来場者が久しぶりのマンドリンの涼しく繊細な音色を満喫しました。

主な内容

- P 2 令和4年6月定例会
- P 4～P15 代表・一般質問
- P16～P17 委員会報告
- P19 議案・陳情等の議決結果
- P20 編集後記

令和4年 6月定例会

6月定例会を6月3日から6月20日まで、18日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市条例の読点の表記を改正する条例の制定など条例関係5件、令和4年度宇土市一般会計補正予算など予算関係7件、人事案件1件、専決処分の報告及び承認6件、その他4件、議員提出議案としてシルバー人材センターに対する支援を求める意見書の1件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、各委員会での審査内容は、16～17ページに、議決結果は19ページに記載しています。

専決処分

◆宇土市税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴い、条例を改正するもの。

【主な内容】

- ・貯留機能保全区域の指定を受けた土地に係る固定資産税の課税標準の特例措置の新設。
- ・省エネ改修工事を行った住宅に係る固定資産税額の減額措置の拡充等。
- ・商業地等に係る固定資産税の課税標準額の上昇幅を令和4年度に限り、同年度の評価額の2.5%とするもの。

【施行日】

令和4年4月1日

◆令和4年度宇土市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ2億4,206万5千円増額し、総額を192億5,206万5千円とする。主なものは、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯分)、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業(追加接種分)、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業(追加接種分)の増額補正。

条例

◆宇土市条例の読点の表記を改正する条例

国の機関において、公用文の作成に係る表記の原則が見直されたことに伴い、宇土市条例の読点の表記を見直すため、条例を制定するもの。

【主な内容】

公布している条例において、読点として

表記する「、」を「,」に改める。

【施行日】

令和5年4月1日

◆宇土市芝光苑民間譲渡先選定委員会設置条例

宇土市芝光苑を民間譲渡するに当たり、譲渡先法人の候補者の審査及び選定を行うための機関を設けるため、条例を制定するもの。

【主な内容】

- ・所掌事務 譲渡先法人の候補者の審査及び選定について審議し、結果を市長に報告すること。
- ・組織 学識経験を有する者、法人等の財務会計に関する専門的知見を有する者、高齢者福祉に関する専門的知見を有する者等のうちから6人以内。
- ・任期 委嘱又は任命の日から市と譲渡先法人が宇土市芝光苑に係る譲渡契約を締結する日まで。
- ・報酬 特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償に関する条例において5,100円と定める。ただし、現職の弁護士、医師、公認会計士及び大学教授等にあつては10,000円。

【施行日・失効日】

公布の日。市と譲渡先法人が宇土市芝光苑に係る譲渡契約を締結した日限り、その効力を失うものとする。

予算

◆令和4年度宇土市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ9億7,295万1千円増額し、総額を202億2,501万6千円とする。主なものは、住民税非

課税世帯等臨時特別給付金支給事業、社会資本整備総合交付金事業(改築)、緊急自然災害防止対策事業(河川)の増額補正。

◆令和4年度宇土市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ2億2,877万1千円増額し、総額を204億5,378万7千円とする。主なものは、熊本県ひとり親世帯への生活支援給付金事業、新型コロナウイルス対策家計応援商品券事業の増額補正。

人事

◆宇土市固定資産評価審査委員会の委員の選任(任期3年)

岡崎 浩信 さん (新任)

その他

◆財産の取得

予定価格2,000万円以上の財産を取得するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるもの。

【取得する財産】

電子黒板一式(80セット)

【取得の方法】

指名競争入札

【取得価格】

4,123万4,600円(消費税及び

地方消費税相当額を含む。)

【契約の相手方】

宇土市城之浦町233番地
株式会社アンサー・インターナショナル
代表取締役 曾方 之

◆令和4年度宇土市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ9億7,295万1千円を増額し、総額を202億2,501万6千円とする。

費目 (歳出概要)	予算額 (単位：千円)	歳出の主なもの ()内は補正額【単位：千円】 ▲は減額補正
総務費	50,606	社会保障・税番号制度経費(13,837)、交通安全対策事業経費(11,039)
民生費	243,262	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業(20,077)、住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業(188,496)、新型コロナウイルス感染症対策事業〔学童利用料減免補填分〕(13,885)
衛生費	▲23,892	保健センター施設改修事業(46,530)、二の丸墓園整備事業経費(28,585)、清掃総務費一般経費(▲127,099)
農林水産業費	149,819	農業水路等長寿命化・防災減災事業(43,500)、緊急浚渫推進事業〔農業用ため池〕(20,000)、単独一般農道整備事業経費(32,000)
商工費	5,634	中心市街地活性化事業経費(750)、干潟景勝地展望広場整備事業(960)
土木費	519,904	地方道路等整備事業経費(42,000)、社会資本整備総合交付金事業〔改築〕(138,100)、緊急自然災害防止対策事業〔河川〕(122,500)
消防費	3,118	新型コロナウイルス感染症対策事業〔危機管理課分〕(3,062)、自主防災組織連絡協議会設立支援事業(510)
教育費	24,500	学校ICT環境整備事業〔新型コロナウイルス対策分〕(9,020)、社会教育総務費一般経費(14,500)

ピックアップ

宇土市工場立地法地域準則条例

工場立地法の規定により公表された準則に代えて適用すべき準則を定めるため、条例を制定するもの。

【主な内容】

・法準則により規定された緑地及び環境施設の設置割合を緩和し、新規の企業立地等を促進するもの。

◀設置割合の比較▶

	緑地の面積		環境施設の面積		重複緑地参入率	
	工場立地法準則	宇土市条例	工場立地法準則	宇土市条例	工場立地法準則	宇土市条例
第1種区域	20%以上	20%超	25%以上	25%超	上限 25%	上限 50%
第2種区域	20%以上	10%以上	25%以上	15%以上		
第3種区域	20%以上	10%以上	25%以上	15%以上		
第4種区域	20%以上	5%以上	25%以上	10%以上		

※区域の設定

第1種区域・・・都市計画法第8条第1項第1号の第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域又は商業地域の指定を受けている区域

第2種区域・・・都市計画法第8条第1項第1号の準工業地域の指定を受けている区域

第3種区域・・・都市計画法第8条第1項第1号の工業地域又は工業専用地域の指定を受けている区域

第4種区域・・・第1種、第2種及び第3種区域以外の区域

【施行日】 公布の日



【代表質問】

発言順	氏名	質問事項（大項目）	掲載ページ
1	宇土市政研 「志」 野口 修一	(1) 「安心・安全のまち」を実現する施策について (2) 「暮らしを守る」施策について (3) 「仕事を支える」施策について (4) 「賑わいを創造する」施策について (5) 「子育て・教育の充実」のための施策について	5
2	六政会 宮原 雄一	(1) 「安心・安全のまち」を実現する施策について (2) 「暮らしを守る」施策について (3) 「仕事を支える」施策について (4) 「賑わいを創造する」施策について	6
3	宇土、みらい 嶋本 圭人	(1) 「住みよさを実感できるまち」について (2) 「安心・安全のまち」を実現する施策について (3) 「暮らしを守る」施策について (4) 「仕事を支える」施策について (5) 「賑わいを創造する」施策について (6) 「子育て・教育の充実」のための施策について	7

【一般質問】

発言順	氏名	質問事項（大項目）	掲載ページ
4	檉崎 政治	(1) 安心・安全なまちづくりについて (2) 学校給食について	8
5	西田 和徳	(1) 住吉漁港の土砂処分場について (2) 笹原地区船着場の整備について (3) 熊本県産アサリ貝について	9
6	今中 真之助	(1) 新型コロナウイルスについて (2) 西部地区活性化(振興)対策について	10
7	佐美 三洋	(1) 市施設 網田レトロ館(網田駅舎)を創建当時に近づけるための本格的な修復・改修の必要性について	11
8	福田 慧一	(1) 物価高騰対策について (2) 消費税インボイス制度の実施中止について (3) 小中学校の健康診断について (4) 教員不足対策について (5) 新型コロナウイルス感染症発症防止対策について	12
9	村田 宣雄	(1) 人・農地プランの見直しと地域計画について (2) 緑川河川・浜戸川河川堤防のかさ上げの進捗と今後のかさ上げ計画	13
10	芥川 幸子	(1) 市民の手続の負担軽減について (2) 新庁舎の来庁者に対する配慮について (3) 子どもの難聴・弱視の早期発見について (4) 児童生徒の安全・安心確保について (5) 健康を守るワクチン接種について	14
11	藤井 慶峰	(1) ダイオキシンを含む除草剤である2・4・5T剤の撤去について (2) 職員の待遇改善について (3) 保育園、幼稚園の臨時閉園時の対応について	15

※上記質問事項については、一部記事として掲載されない場合もあります。

※上記QRコードから、定例会の録画映像を視聴できます。

施政方針について



(宇土市政研「志」)
野口 修一 議員

安全・安心のまち

問 自主防災組織リーダーとしての防災士養成について。自主防災組織のトップを防災士が務めると、継続的な活動が可能となる。地区に1人は防災士がいるような養成について。

答 地域防災力の向上のために防災士の養成は大変重要な取組である。多くの一般の方に防災士の資格を取得していただくよう、熊本県が防災士を養成するために開催している熊本県地域防災リーダー養成講習「火の国ぼうさい塾」の宇土市開催を目指し、県と協議を進めている。(市長)

問 避難所の防災機能向上について。避難所ではトイレが最も重要と思う。マンホールトイレや、今後の防災機能向上に必要な装備について聞きたい。

答 昨年度、網津防災センターに手押し式の防災井戸を整備。今後さらに、主要指定避難所6箇所に整備を計画している。また、現在建設中の新庁舎の駐車場敷地内に汲み取り式のマンホールトイレを5基、建設計画中の網田コミュニティセンターに雨水利用型のマンホールトイレを2基整備する計画。汲み取り式マンホ

ールトイレは、1基当たり1日1000人使用した場合3〜5日間は対応可能。停電や水がない場合でも使用できる。その他、備蓄倉庫未整備の主要指定避難所4箇所への追加整備や網田コミュニティセンター、保健センターへの太陽光発電蓄電システムの設置を計画している。(市長)



避難所用具・マンホールトイレ

暮らしを守る

問 生ゴミ減量化と市民生活のSDGsの取組について。市民団体の生ゴミ減量と有機肥料の取組並びに、今後のゴミ処理の考え方について聞きたい。

答 生ゴミの堆肥化活動は、ゴミの減量化につながり、推奨していく必要があると考える。ゴミの減量化につながる市民のSDGs活動を支援する施策を検討する。(市長)

仕事を支える

問 県外企業を呼び込む優遇策について。ハイテク企業やソフト開発会社が相次いで進出する佐賀県神埼市の企業優遇策を、宇土市で検討する価値はあるか。

答 佐賀県神埼市の優遇制度は、固定資産税減免、雇用奨励金においては本市を上回るが、用地取得費奨励金は本市が上

回る。現在の優遇制度の情報発信の強化を進める。(市長)

〈神埼市の優遇制度の主なもの〉

- ①固定資産税
5年間全額免除、10年まで半額
- ②雇用奨励金
1人当たり50万円
- ③工事・オフィス等の賃料
2年間50%助成
- ④電気・水道使用料金
3年間 最大50%助成

〈宇土市の優遇制度の主なもの〉

- ①固定資産税
3年間全額免除、以後3年間半額
- ②雇用奨励金
1人当たり30万円
- ③用地取得費奨励金
用地取得価格20%・上限3億円
- ④給水加入金交付金
全額

県外企業誘致の優遇策(宇土市と佐賀県神埼市)

賑わいを創造する

問 長部田海床路の漁業と観光との共存共生について。長部田海床路の観光客増加と、漁師の仕事との共存を、市長はどう考えているか。

答 漁業者と観光客のトラブル防止策としては、市側で漁業者の妨げにならないよう注意事項を記載した観光案内板等の設置や、交通誘導員等の配置を行った

い。観光地化は、新たなビジネスチャンスが生まれ、住吉地域の活性化につながる可能性を秘めている。今後、漁業者の意見等を把握するため住吉漁協と連携を強化し、観光客の受入れの形を模索していく。(市長)

子育て・教育の充実

問 生活困窮育児世帯の支援について。生活困窮育児世帯へのネット通信料助成・機材貸与と、民間とタイアップした子どもの困窮対策について聞きたい。

答 家庭でのタブレット学習に必要な費用の一部支援と、Wifiルーターを無償で貸し出す。また、民間団体との協定により、企業・行政との連携を強化することで市内の子ども食堂の運営支援を行い、多世代間の交流や、食事の提供にとどまらず、支援が必要な子どもとの相談の糸口となるなど、誰一人取り残さないまちづくりに努める。(市長)

問 市長の考える第三の居場所、サードプレイスの取組について、詳しく聞きたい。

答 家庭や学校での居場所のない小学生から大学生世代までの青少年が好きな時間に気軽に自由に立ち寄り、ホッとできる居場所と考える。青少年であれば来る人の制限はせず、不登校の子どもや障がいのある子ども、外国籍の子どもや経済状況や家庭環境に課題を抱えた子どもなどすべての子どもたちの心の拠り所と成り得る居場所になればと思つ。そこへ訪れた子どもたちが異世代との交流により、つながりができていくことで、人や社会と関わる力を育むことができればと考えている。(市長)

施政方針について



(六政会)

宮原 雄一 議員

「安心、安全のまち」を実現する施策について

問 防災士の養成の具体的な取組について。

答 今年度の取組として、多くの宇土市民の方に防災士の資格を取得していただけるよう、熊本県が防災士を養成するために開催している熊本県地域防災リーダー養成講習「火の国ぼうさい塾」の宇土市開催を目指し、現在、県と協議を進めている。

防災士の資格は、性別や年齢、学歴などの制限はなく、だれでも取得することができるので、意欲ある市民の皆様にも、受講していただき、防災に関する知識と技能を習得し、地域の防災活動等に積極的に参加していただきたいと考えている。

問 地域防災計画においての防災士活用について。

答 市主催で毎年実施している総合防災訓練などにも、防災士をはじめとする多くの地域の方に参加していただき

たいと思っている。このような訓練を通して、市民の皆様とともに、より一層、自助・共助・公助の意識の醸成による防災力の強化を図っていききたいと考えている。

さらに、今後についても、計画的に防災士の養成を図っていくため、引き続き、熊本県が開催する養成研修などを積極的に活用し、自主防災組織連絡協議会のほか、各種団体等にも参加を呼びかけていきたいと思っている。また、将来的には防災士連絡会との連携も図りながら、地域の防災活動を牽引する防災士の養成に取り組んでいく。

(市長)

「暮らしを守る」施策について

問 都市計画道路「北段原線」の整備計画について。

答 北段原線の未整備区間である延長約390mについて、令和2年度から道路整備に着手しており、車道2車線と両側に歩道を設置し全幅16mで計画している。現在は用地取得を進めており、令和7年度中の工事完了を目指し取り組んでいる。本路線の整備完了により宇土市街地を周回する道路が完成すると、交通機能の向上や、災害発生時の避難通路、救護活動のための通路確保などに加え、将来の土地開発への効果も期待できる。

(市長)

「仕事を支える」施策について

問 30年後の未来の農業、未来の地域の在り方について。

答 みどりの食料システム戦略として、国は2050年までに①農林水産業の二酸化炭素排出量実質ゼロ、②化学農薬の使用量を50%低減、③化学肥料の使用量を30%低減、④有機農業の取組面積の割合を25%（100万ヘクタール）に拡大、⑤化石燃料を使用しない施設への完全移行等を掲げている。

本市では、国が示す基本方針に基づき、県と市が共同で具体的な取組内容を盛り込む基本計画の策定を検討している。

(市長)

問 小規模農業組合への支援について。

答 3戸以上の農業者で構成された機械利用組合等の小規模組合等に、国の補助事業の対象にならなかった共同利用機械の導入及び更新に対し、市単独補助事業の創設を検討していく。

(市長)

「賑わいを創造する」施策について

問 行政主導による土地開発の具体的な内容について。

答 行政主導による土地開発は、民間開発の呼び水とするため、住宅、工業流通団地などの土地利用の方法を検討し、まずは、市が主導で土地開発を行うものである。

現在、「宇土市宅地等造成事業調査業務委託」を実施中であり、この業務の中で、開発候補地の土地利用計画を検討し、各候補地における開発計画案や収支計画の作成を行い、事業採算性、実現可能性について検証することとし

ている。

開発候補地としては、ウキウキロード沿線、宇土シティモール北側（仮称）城塚インターチェンジ、神馬町都市計画道路東、神馬町都市計画道路西の5箇所としている。

この調査業務に基づき、開発地を選定することになるが農振農用地からの除外や、大規模な盛土造成工事の必要性、また、大雨等による冠水被害への対策など、各候補地において検討すべき課題は多岐に渡る。しかし、10年後、20年後に誇れる宇土市にするためにも、この土地開発を未来への投資と捉え、「未来につながるまちづくり」として積極的に進めていく。

(市長)



着実な整備が期待される
(仮称)城塚インターチェンジ付近

施政方針について



(宇土、みらい)
嶋本 圭人 議員

「住みよさを実感できるまち」

問 本市は、移住・定住促進のために様々な事業に取り組んでいる。本市が考える、「住みよさを実感できるまち」づくりとは。

答 平成30年度からの4年間で、累計26億4千万円のふるさと納税を頂き、歳入確保と物産振興並びに事業者の売上増加や販路拡大にも繋がった。また、小中学校に無線LAN環境及び1人1台のタブレット端末を整備し、ICT支援員による教員向け研修会等も実施。今年度も、新型コロナウイルス対策として地域経済の活性化と感染症対策に取り組む。また、複雑多様化する福祉問題へ対応するため、新庁舎にふくしの総合相談窓口を新設。他に、災害、高齢化、働く場、子育て、教育等の課題を一つずつ解決していく。(市長)

「安心・安全のまち」を実現する施策

問 近年、自然災害が頻発しており、いづれどこで災害が発生してもおかしくない状況にある。本市の防災・減災の

取組は。

答 これまでの取組として、備蓄倉庫を整備し、1万8千食(本)分の備蓄用非常食及び保存水(500ml換算)を保管。また、緊急避難場所としての飯塚防災広場、五色山グラウンドの防災トイレを整備したほか、津波避難路を計12箇所整備。さらに網津防災センターには防災井戸を整備した。

今後の取組として、防災井戸を主要指定避難所に整備。また、マンホールトイレを新庁舎・網田コミュニティセンターに整備予定。その他備蓄倉庫・太陽光発電蓄電システムの追加整備と、農業用ため池の浚渫や河川の治水対策、河川カメラの増設等も進める。(市長)

「暮らしを守る」施策

問 道路整備事業の一つである都市計画道路「北段原線」の整備計画について。

答 令和7年度中の工事完了を目指し、令和2年度から延長約390mの事業に着手。利便性や避難、救護活動機能の向上に加え、将来の土地開発への効果も期待される。(市長)

問 有効な土地利用を進めるため、都市計画用途地域見直し等、今後の取組は。

答 用途地域外で宅地化が進んでいる地域もあり、土地利用の保全及び誘導を行うため、用途地域の設定が必要。今後、総合計画後期基本計画や都市計画マスタープランの見直しも予定。将来的に有効な土地利用に繋げていく。(市長)

「仕事を支える」施策

問 企業誘致の促進を図るため、これまでの実績と今後の取組は。

答 昨年度、宇土花園・緑川地区3箇所の工業団地を完売。今後、土地利用を検討し、市が主導で土地開発を行い、本市への企業誘致の促進を目指す。(市長)

問 住吉地区に土砂の共同処分場が計画されている。事業概要、埋立て完了後の跡地利用について。

答 今年度から令和5年度までに環境影響評価業務、令和6年度に埋立申請、地質調査・測量設計を実施。令和7年度から護岸工事に着手し、令和10年度に竣工予定。なお、土砂の受け入れは、令和9年度から14年度までの6年間を予定。跡地利用について、住吉漁協及び地元行政区等の意見を踏まえ、関係漁協とも協議し検討していく。(市長)

「賑わいを創造する」施策

問 熊本地震の復興支援として「ONZE PLACE」の銅像設置にあたり、来訪者の利便のための住吉海岸公園周辺整備や企業誘致等、本市の今後の取組は。

答 7月上旬には公園内の駐車場整備と既存トイレの改修が完了。民間直売所等を誘致し、地元産品やジンベエ像関連商品等の取扱いを検討中。また、産交バスの長部田停留所に快速あまぐさ号の停車を実現させたい。(市長)

「子育て・教育の充実」のための施策

問 第2期宇土子ども・子育て支援事業計画に基づく事業成果と今後の取組は。

答 子育て世代包括支援センターの設置や病児・病後児保育事業の拡充等、おむね計画どおりに進捗。しかし、年度途中の待機児童が課題。このため、0から2歳児の定員増に向け、市立幼稚園の認定こども園移行が可能か検討を進める。また、小中学生対象のこども医療費助成事業について、保険診療の自己負担分の全額を助成する方向で今市議会定例会に関係予算を上程。(市長)



絶景の御輿来海岸



米飯給食



横断歩道のカラー化を

信号機のない横断歩道の安全対策と学校給食について

信号機のない横断歩道の安全対策について



(宇土、みらい)

榎崎 政治 議員

する等の対策を進めていく。

また、児童の安全対策については、毎年各小学校で交通安全教室を開催しており、今後もこの中で取り組んでいく。

(市民環境部長)

学校給食について

問 学校給食における米の消費拡大について。

答 本市の給食では、現在週に3回の米飯と2回のパンを提供している。また、県内各市で完全米飯はなく米飯週3回、パン週2回が大勢を占めている。今後、他市の状況や食材費等を勘案して、米飯の回数を増やす方向で検討していく。(教育部長)

問 子どもには輸入小麦のパンより、地元のお米を食べてもらいたいが、学校給食における地産地消の推進の状況は。

答 給食で提供する米飯のお米は、宇土市産の森のくまさん

100%使用している。また、網田漁協、住吉漁協から頂いた宇土市産の海苔や、JAから納入した宇土市産の「ネーブル」を提供しており、好評を得ている。(教育部長)

問 免疫力を高める食の啓発と推進を学校給食に取り入れる考えは。

答 新たな取組として、今後、月1回程度を「(仮称)免疫力アップデー」として、免疫効果のある食材を給食に利用したいと考えている。(市長)

大雨時の災害対策

問 田んぼダムによる防災対策の取組について。

答 田んぼダムとは、水田がもともと持っている水を貯める機能を有効活用するもので、大雨時に排水路や河川への流出量を抑制し、下流側の洪水被害を軽減する取組である。本市においては、田んぼダムによる防災対策の取組を行っていないが、防災・減災対策として、各排水機場や農業用ため池の整備を重点的に取り組んでいる。(経済部長)



アサリ貝の荷揚げ風景

住吉漁港の土砂処分場, 国・県・市による熊本県産アサリ貝への支援策の取組

住吉漁港の土砂処分場に ついて

問 住吉漁港区域内に計画されている土砂処分場について、漁業資材置場等の早期確保のための今後の埋立計画は。

答 土砂処分場の整備スケジュールは、今年度からの環境影響評価業務を始め、埋立申請、地質調査、測量設計を順次実施。令和7年度から護岸工事に着手し、令和10年度に竣工予定。土砂の受入期間は、令和9年度から令和14年度までを予定している。また、埋立計画は、長部田港に隣接した西側を一期、東側を二期とした整備になる予定。整備は国・県等の関係機関と、綿密に協議をしていく。なお、埋立完了後の土地利用については、漁業資材置場等の水産関連施設や他用途も視野に入れ、住吉漁協、地元行政区及び関係漁協とも協議し検討したい。

(経済部長)



(宇土市政研「志」)

西田 和徳 議員

要望 関係漁協と早い段階で協議を進め、一年でも早く利用できるようにし、西部地域の活性化につなげてほしい。

熊本県産アサリ貝について

問 アサリ貝の産地偽装問題による緊急出荷停止を受け、県が取組を行った2カ月間の状況と支援への考えについて。

答 県による県産アサリ貝の緊急出荷停止後の2カ月間の主な取組は、風評被害の防止に向けた積極的な広報活動、産地偽装一〇番による疑義情報の収集、産地偽装対策の徹底に向けた国への要望活動、熊本県産あさりブランド再生協議会の設置などである。また、産地偽装を防ぐ熊本モデルの流通販売の仕組みづくりとして、流通の追跡、DNA検査による流通監視体制の構築、さらにその産地保証された県産アサリ貝の販売店の認証制度を創設し、4月から5月

にかけて、販売協力店を限定して試行的にアサリ貝の販売を実施されている。(経済部長)

問 今後の流通方法について。

答 6月以降は、販売協力店を増やしながら産地証明のデータベース化やQRコードを活用し、流通段階での県漁連や県の監視体制の強化が図られる予定である。また、漁業者の直接販売についても、DNA検査及び漁協への報告に基づき漁協で数量等を把握した上でQRコードを発行し、販売できるよう協議されている。さらに、県産アサリ貝への信頼性を確保する取組として県が「熊本県産あさりを守り育てる条例」の制定を予定されている。

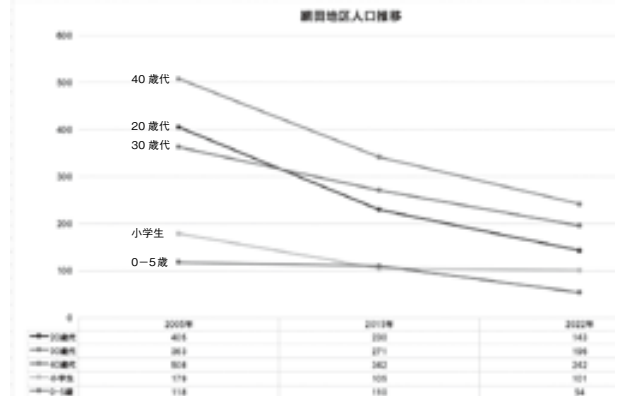
今後も県及び漁協と効果的なアサリ貝の回復手法等を積極的に研究、推進し、漁場保全や増殖支援を継続的に実施してアサリ貝の産地復活を目指す。また、資源回復に向けた取組を本市のホームページ等に記載し県産アサリ貝を全国に発信していきたい。

要望 国・県・市による支援の継続をお願いしたい。

(経済部長)

宇土市年代別人口 令和4年3月31日現在

区分	性別					年齢層																			合計
	男	女	男	女	合計	0-5	6-11	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85+		
宇土市	11,338	11,338	38	38	76	257	135	235	429	483	580	580	579	526	506	536	469	379	326	256	204	150	100	4,609	
宇土小地区	595					736	416	625	989	1,147	1,493	1,458	1,475	1,387	777	224	1,115								11,150
宇土	48	74	78	82	78	80	671	323	462	737	839	1,137	1,081	975	969	544	249	813							8,137
高	25	15	18	21	24	24	145	60	141	262	305	366	377	438	418	238	70	303							3,033
高田小地区	319					427	327	504	950	1,178	1,414	1,252	1,278	1,057	644	183	964								10,664
高田小地区	5	14	9	18	13	23	129	49	87	158	219	273	354	277	277	158	69	1,989							1,989
網田小地区	4	9	9	13	8	11	69	36	83	147	173	189	264	304	297	213	80	1,854							1,854
網田小地区	11	13	16	9	16	18	113	65	171	203	217	300	310	413	506	377	144	3,031							3,031
網田小地区	3	4	12	13	10	9	351	47	81	143	196	262	370	417	464	348	202	2,862							2,862



宇土市の人口がピークだった2005年と比較し、西部地区の若年層人口は半減。特に網田地区は児童数も5年後半減する。

本当のワクチン効果の情報開示を 西部地区、特に網田地区の若年層定住支援策は急務だ

新型コロナウイルスの対応について



(宇土市政研「志」)

今中 真之助 議員

問 ワクチンの副反応や後遺症と思われる実態があるのに、市はもつと症例を公表できないか。

答 国公表の「副反応疑いの報告」等について、市HPに掲載した。今後もワクチン接種のメリット・デメリットを広く周知し、市民への判断材料となるよう、情報公開に努める。

(健康福祉部長)

要望 厚労省が接種済みの接種歴不明者を未接種扱いにするなど新規陽性者の実数を改ざんしていたこと等が判明した。真実の情報を開示しないと益々ワクチン被害者が増える。「本当の情報」を開示してほしい。

問 学校のマスク着用について。
答 5月26日の通達で、屋内では、人との距離が確保でき会話をほとんど行わないような場合には着用は必要ないとしている。

また、屋外では人との距離が確保できる場合や会話を行わない場合には着用は必要なく、体育の授業や運動部活動、登下校時においても同じく着用は必要ないと周知している。

要望 6月8日現在全く周知できていない。熱中症のみならずマスク健康被害を増やさないために早急に周知を。

(教育長)

西部地区活性化(振興策)について

問 定住促進のためには安心安全なまちづくりであるインフラ整備が必要不可欠だ。今後4年以内に着手する西部地区の見通しは。

答 ①網津第2排水機場の改修を行う。今年度実施計画を行い、令和6年度までに排水ポンプを新設する予定。②網田排水機場の改修を行う。新地区の湛水被害の軽減を図るため老朽

化した施設を令和6年度までに更新する予定。また、排水機場までの導水路の改修や浚渫も並行して実施したい。③戸口地区の安心・安全を守るため、戸口防潮堤及びB護岸のかさ上げ工事を行う。今年度に地質調査及び測量設計を行い、令和7年度までに整備する予定。(市長)

問 若年層人口がここ17年で1/2になっている網田地区。どうしていくか、どのように頑張ってほしいか、市長の想いは。

答 いかにも人口減少を緩やかなものにするのが課題。自然環境を生かした定住促進や空き家活用支援の強化など人口増加対策を重点的に実施し、一世帯でも二世帯でも移住者を増やしていくことが重要である。また、関係人口増加対策も重要で、観光資源を活用し網田地区の経済が潤い、お金が落ちる仕組みを創り、賑わいのあるまちづくりを目指していきたい。(市長)

要望 本気でやってほしい。網田、網津支所に移住支援のための窓口新設を要望する。佐美三議員も含め協力は惜しまない。



駅舎取得10年! 現代的な部材が混在したままで県下最古の風情が感じられない!

県内最古の木造駅舎 網田駅舎の本格的な修復・改修を問う!

*** 本年度の診断結果を踏まえ、本格的な改修へ 市長回答 ***

網田駅舎を創建当時に近づけるための本格的修復・改修の必要性について



(無所属)

佐美三 洋 議員

問 網田駅舎の歴史的価値について。

答 今から123年前の明治32年に開設され木造駅舎では県内最古、九州管内でも2番目に古く、平成26年に国の登録有形文化財に指定された文化的価値の高い駅舎である。(教育部長)

問 J R から駅舎購入後、これまでに行った改修内容について。

答 平成24年にJ R から駅舎を10万5千円で購入し今年で10年になる。購入翌年に2回の工事を行い、駅執務室や和室をワンフロアにし住民が集う交流室に改修した。改修費として県補助金189万円を含め697万円を支出している。(企画部長)

問 網田駅舎を創建時に近づけるための問題・課題について。

答 駅舎の老朽化で利用者の安全確保が喫緊の課題である。現在、指定管理者が「駅カフェ」として使用する交流室の内装改修は完了したが、駅舎の外装や窓枠等はアルミサッシのまま創建当時とはかけ離れた状態である。そこで、熊本地震復興基金を活用し駅舎の耐震診断等の調査委託料を今定例会に上程した。

(企画部長)

問 駅舎購入以降、交流室部分以外は何ら手付かずだ。現状の屋根瓦は創建当初に無かったセメント瓦であり、待合室の玄関戸や窓はアルミ、また待合室天井はエアコンの配管がむき出しで室外機がホーム側の目立つところに設置等々、現代的な部材が混在し風情が全く感じられない。駅舎は熊本地震で支柱の落下も発生し加えて白蟻被害で待合室玄関の柱は根元が無くなり天井や屋根裏も被害が深刻であ

る。網田駅舎を創建当時に近づける為の小手先ではない本格的な修復・改修の必要性について市長の考えは。

答 国登録有形文化財であり貴重な建造物と認識する。120年が経過し利用者の安全確保は急務だ。適切に保存し効果的に活用していく事が必要と考える。本年度実施予定の耐震診断の結果を踏まえ、まずは安全面の補修を実施しその後、創建当時に近づける修繕に取り組み事になる。財源についても国庫補助や辺地債を活用したいと考える。(市長)

提言 去る3月、ベルリン国際映画祭出品予定作品のロケで網田駅での撮影が実施された。駅舎をブラッシュアップすれば多様な活用・展開が期待される。鹿児島県の肥薩線嘉例川駅舎の様な風情ある改修をお願いする。網田駅舎を創建当初に近づける事で文化財としてだけでなく、市の大きな観光資源となり得る可能性も秘めている。元松市政の4期目の目玉事業となる取組を期待する。



燃料高で苦しむ運送業

物価高から市民の生活と事業者の営業を守るため財政支援を

物価高騰対策について



(共産党)

福田 慧一 議員

問 生活必需品など全般にわたる物価が高騰し、市民の暮らしや小規模事業所の経営に深刻な影響が出ている。物価高騰の原因はロシアによるウクライナ侵略だけでなく、政府がこれまで進めてきた異次元の金融緩和により円安が進み輸入物資が値上がりしているところにある。電気代などの光熱費が値上がりしており高齢者世帯に対する支援ひとり親世帯・生活困窮者に対する支援が必要である。市の独自の対策は。

答 本年3月から、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金による市独自策として、令和3年度住民税均等割のみの課税世帯及び住民税非課税世帯で被扶養者のみの世帯に5万円、また国の生活困窮者自立支援金の再支給世帯に対し1世帯あたり5万円を

支給した。子育て世帯に対する市独自の支援として、国の給付金の対象外になる令和4年度分の住民税均等割のみの課税世帯に給付金を検討している。

(健康福祉部長)

問 小規模事業所や農林漁業者は、燃料や資材等が高騰しているが高騰分を価格に転嫁できない。こうした状況が続けば事業の継続が困難である。市の対策は。

答 商工業者への市独自の支援策として、燃料費高騰の影響が大きい事業者に対し給付金の支給を検討している。また、農林漁業者への支援策については今年度中の実施に向け検討している。今後も状況に応じ適宜必要な支援を行っていく。(経済部長)

問 学校給食で食材の値上がりが続き、給食費を値上げしている自治体も出ている。地方創生臨時交付金を活用し保護者に負

担増を求めるべきではない。市の対応は。

答 文部科学省の通知において「物価高騰に伴う学校給食等に関する負担軽減」に対しても地方創生臨時交付金の活用が可能であることから、今年度の交付金計画書に登載している。今後も物価高騰が続く、食材費の値上げが実施された場合、交付金の活用を想定している。(教育部長)

教員の不足対策について

問 新学期が始まる4月時点で小中学校の教員が全国で2千人以上不足していると文科省が発表している。市の4月時点での不足数と市の対応はどうなっているか。

答 文科省の教師不足に関する実態調査の結果によると、全国で不足が合計2,086人となっている。不足の大きな要因として、産休・育休、病休者数の増加や教師の勤務環境に対する風評によるなり手不足が挙げられる。市の対策として、教職の魅力向上に努めるため教員の働き方改革等の推進に取り組んでいる。(教育長)

- ① 全農家対象に説明会開催される 自らの将来像を反映しよう
- ② どこで何を作るのか等地域の将来像を協議
- ③ 地域の農地を農業利用する区域等に分類
- ④ 10年後の姿とした農地を集約し、利用者を確認した地図を作成

地域計画は、将来の農業の在り方等を定める計画です

“ご存じですか 地域計画を”

緑川河川・浜戸川河川堤防のかさ上げ計画の進捗と今後のかさ上げ計画



(宇土、みらい)

村田 宣雄 議員

問 緑川・浜戸川河川堤防のかさ上げ工事の進捗と今後の見通しについて。

答 国土交通省で整備しているT・P・4・5m(以前の轟第二排水機場付近では、T・P・3・0m程度)の堤防が、令和2年5月末に完成した。引き続き、T・P・6・0mの堤防整備が進められ、緑川の左岸で、延長約2,350m、浜戸川の左岸で、延長約200m、右岸で、延長約300mが完成している。令和4年度は、緑川の左岸で、延長約160m、浜戸川の左岸で、延長約50mが計画されている。令和5年度以降の整備箇所は未定だが、令和7年度までには、完成させたいとのことである。

人・農地プランの見直しと地域計画について

(建設部長)

問 地域計画にみどりの食料システム戦略の柱である有機農業をどう位置付けされるのか。

答 地域計画を策定するに当たり、農業者、農業委員会、農地バンク、JA、土地改良区等と地域の実情にあった農業振興や農地利用を協議する上で、策定予定のみどりの食料システム戦略の基本計画と整合性を図り、有機農業の取組方針を決定している。また、有機農業に適した農地の確保、団地化等について促進し、積極的に地域計画に定めることで推進を図っていく。

問 農業経営基盤強化促進法の改正に関連し人・農地プランが

(市長)

見直され、新たに市において地域計画の策定が法制化された。そこで、地域計画はどのような内容か。また、どのような推進体制で取り組まれるのか。

答 市が作成する地域計画は、「実情に応じ、複数集落を視野に入れた区域を設定」「区域ごとの農作物や農地の利活用を設定」「農地の貸し手・借り手の意向を把握し、農地の集約化の目標等を定める」こととし、また、農業者の情報を基に、現状及び今後の見通し等について分析できる目標地図も作成する。さらに、市において、農業委員会、農地バンク、JA、土地改良区等で組織された検討委員会を新たに設置し、意見を聴取した後、公告する流れとなる。

策定した地域計画や目標地図を基に、その目標の達成に向けて、農業委員会が中心となり、市、農地バンク、JA、土地改良区等が連携して推進を図っていく。

(経済部長)



窓口での手続の様子

申請書に記入することなく手続ができる「書かない窓口」の導入を!!

市民の手続の負担軽減について



(公明党)

芥川 幸子 議員

問 来庁者が申請書に手書きすることなく手続ができる「書かない窓口」を導入してはどうか。
答 本市の住民ニーズに応じた「書かない窓口」の導入を目指す。

問 「おくやみ窓口」の開設について。
答 最初に来られた担当課で、内容を職員がデータ入力し共有データで申請書を発行することにより手続が速やかに行えるようになっている。(市民環境部長)

問 窓口における手数料支払についてキャッシュレス決済等に対応したセミセルフレジを導入してはどうか。
答 導入を検討していく。(市民環境部長)

新庁舎の来庁者に対する配慮について

問 新庁舎の来庁者及び出産後に働く職員に対し、搾乳室を設置したかどうか。
答 授乳室を搾乳室として使用

できるように、利用しやすい運用を検討する。(企画部長)

問 新庁舎の多目的トイレに大人でも使用できるユニバーサルシートを設置したかどうか。
答 多目的トイレの利用に支障のない範囲で設置できるよう調整していく。(企画部長)

子どもの難聴・弱視の早期発見について

問 新生児聴覚検査の費用助成について。
答 出来るだけ早い段階で費用助成を実施する方向で検討していく。(健康福祉部長)

問 3歳児健診における屈折検査について。
答 昨年度から交付金を使って屈折検査機器をリース契約し検査を実施している。この屈折検査導入により、弱視の見逃しが減り、早期発見・治療につながっている。(健康福祉部長)

児童生徒の安全・安心確保について

問 学校安心メールシステムに

ついて。

答 本システムは、学校から保護者へ電子メールを通じて情報を無料で配信でき、市内の全ての小中学校は導入済。

問 登下校のお知らせメールについて、その後の調査状況と今後の対応について。
答 登下校の際に「今、学校へ入りました」、「今、学校を出ました」というメールが任意で加入する有料会員の保護者へ自動的に送信されるシステム。課題等を踏まえ、まず大規模校のPTAや学校へ情報提供を行っていくこととする。そのほかに、犯罪の抑止力強化のために市内全ての学校に防犯カメラの設置など、様々な観点から子どもたちの安全確保のための対策を検討していく。(教育部長)

健康を守るワクチン接種について

問 带状疱疹ワクチンの接種費用の助成について。
答 現在、国において带状疱疹ワクチンを定期接種とすることが検討されているので、まずはその検討状況を注視したい。(健康福祉部長)

(健康福祉部長)



2・4・5T除草剤の埋設地

積年の願い!2・4・5T除草剤完全撤去・林野庁決定

ダイオキシンを含む2・4・5T除草剤の撤去について



(無所属)

藤井 慶峰 議員

問 林野庁の撤去決定と撤去までのスケジュールについて。

答 近年多発している地震や水害等の災害による流出が懸念されることから、令和3年度に、現在全国に埋設されている46箇所の中から宇土市を含む4箇所を先行して、安全に埋設物が撤去できるかどうかの検討を行うための現地調査が行われた。

今年度は、埋設物の撤去に向けてさらに詳しく本市の埋設物の成分濃度の分析を行うために、合計3箇所ボーリングによる試料採取が行われる。その結果、埋設物の安全な撤去が行えることが確実となれば、令和5年1月頃に掘削対象範囲の決定及び最終処理施設の決定を行い、その後埋設物がある場所の近隣住民に対して説明会を行った上で、

令和5年度以降に撤去を行うべく予定と聞いている。

(市民環境部長)

職員の待遇改善について

問 本市は、他の市町村以上に行政改革に取り組み人員削減をしてきた結果、職員に対して無理をさせているのではないかと、また、災害が起きれば、人手が足りなくなる。他所で大災害が起きても応援職員を派遣しなければならぬ。そういう点から、職員数をしっかり確保しておくべきではないか。

答 今後、熊本地震の復旧・復興事業に伴う公債費や扶助費といった義務的経費が大幅に増加することが確実であり、極めて厳しい財政運営を強いられることが予想される。本年度は令和5年度からの「第7次宇土市定員適正化計画」の策定期間となるが、住民サービスの質を落とすこ

となく、限られた人員で最大の効果を生み出す組織づくりや人材育成に力を入れると共に、徹底的な業務改善をはじめ、デジタル技術やデータを活用した全庁的なIT技術を構築し、職員が働きやすい職場環境を充実させたいと考えている。(総務部長)

保育園、幼稚園の臨時閉園の時の対応について

問 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどによって、急に保育園や幼稚園が閉園しなければならなくなった時、保護者が迎えに来られるまで、園で預かって頂きたいという希望がある。

答 休園措置の決定当日は、急な休園措置に対応できない業務に従事されている方もおられるので、その場合は各保育所、幼稚園において、保護者の方が迎えに来られるまで、責任をもって保育していただいている。今後ともこれまでどおり、新型コロナウイルス感染症等への対応について、保護者の方にも最大限配慮していく。(健康福祉部長)

総務市民

総務部・企画部・市民環境部
行政委員会などを所管



園田茂委員長

《議案関連》

令和4年度宇土市一般会計補正予算 (第2号)

問 二の丸墓園納骨堂整備事業について、何室整備するのか。また、新たな利用者の公募は行うのか。

答 長屋タイプ集合墓の納骨堂96室と合葬墓を新設する。現在納骨堂を利用されている31人と連絡を取っており、新しい納骨堂や合葬墓に移るか、もしくは、現在の納骨堂を継続して利用するかを確認する。新設の納骨堂については、来年4月からの供用開始を予定しており、現在の納骨堂利用者が移って入った後の残りについて利用者の公募を行う予定。

(委員から意見) 新公共交通の運行について、今後利便性を高めていくためにも、特に現行の三角・宇土間の路線バスとの兼ね合いが大きな課題になっている。再三、本委員会や決算審査特別委員会でも提案しているように路線バスの代替手段の検討について、関連する地域公共交通会議や宇城市と議論を深め、将来的な話ではなく、喫緊の課題であることを認識して業務にあたってもらいたい。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



西田和徳委員長

《議案関連》

令和4年度宇土市一般会計補正予算(第1号)

問 ジンベエ像を設置する費用や設置場所の決定経緯についてはどのようになっているのか。

答 熊本復興プロジェクト事業は県事業であり、銅像の設置については、銅像やその基礎部分等については県の負担となる。その他の設置場所の周辺整備や除幕式に関しては本市で行うことになる。また、設置場所の決定については、12市町がそれぞれ候補地をアピールする形で進められた。結果として、海につながる長部田海床路を有する吉海岸公園が設置場所として決定された。

問 今回関連する整備も含めて相当な予算が計上されている。せっかく投資するのだから一過性のものでなく、継続して経済効果をもたらす仕組みが必要はないか。

答 今後の検討課題として、他の設置市町村や民間の知恵、方法を参考に、市内観光・経済の振興を含む地域の発展につなげていかなければならないと考えている。

(委員から意見) 長部田海床路は、現在も観光客で賑わっているため、設置後も漁業者、観光客双方の通行において安全確保を図るとともに、直売所に関しても漁業者の迷惑にならないように取り組んでほしい。

令和4年度宇土市一般会計補正予算(第2号)

問 ため池の浚渫工事や補強工事の進捗状況は。今年度、地元から要望があった4箇所について優先的に測量設計及び浚渫を行う予定にしている。

問 ハザードマップを活用し、地元からの要望だけでなく、市でも主体的に行うことが水害防止につながるのではないか。

答 災害が起きないよう、主体的な取組を検討したい。

令和4年度宇土市水道事業会計補正予算(第1号)

問 本町1丁目の配水管改良工事はどのあたりになるのか。

答 本町1丁目桑田商店付近の県道川尻宇土線に埋設されている配水管約100メートルを計画している。

(委員から意見) 水道管が露出して布設してある箇所、水道管を保護する保温チューブの劣化がみられる。早急に調査し、対策を講じてほしい。

《議案以外》

地蔵まつりの縮小開催について

問 花火の際の交通規制はどうなっているのか。

答 無観客で行うため、基本的に交通規制は行わないが、花火の打ち上げに必要な箇所のみ交通規制を行い、関係する地元の説明も予定である。

問 一部を除き、交通規制はしないということだが、花火があるというだけで人は集まってくるはず。その対策はどうするのか。

答 人が集まると予測できる場所に関しては、警備員を配置し、混雑しないように対応する予定である。

地籍調査誤り修正の進捗及び今後の予定について執行部から報告

今年度においては、昨年度に現地調査を実施した調査区(平成21年度分(2字)・平成25年度分(11字))の閲覧を実施する計画である。現在、閲覧後の誤り修正に必要な作業を行うため、委託業者との契約準備を行っている。6月9日から28日まで閲覧を実施し、その後9月末までに国県への認証請求を行い、今年中に法務局への登記申請を目指している。

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



野口修一委員長

《議案関連》

宇土市芝光苑民間譲渡先選定委員会設置条例

問 無償で譲渡するのか。また、どういったところを対象にいつ募集を行うのか。

答 有償での譲渡になる。対象は、宇土市内の医療法人、社会福祉法人及び高齢者の入居施設の運営実績がある法人であり、6月末から募集を開始する予定である。

問 譲渡後、入居者が負担する利用料はどうなるのか。

答 国の基準があるので利用料は変わらない。

問 譲渡する意味があるのか。

答 施設は、老朽化しており雨漏りなどの修理のため、近年は多額の修繕費用がかかるようになってきている。また、一般に養護老人ホームの個室化が進んでいる中、芝光苑は2人部屋となっている。市が建て替えを行うことになれば、費用は一般財源で市の負担となるが、民間であれば、建て替える際に融資や補助を受けることができる。

財産の取得について及び令和4年度宇土市一般会計補正予算(第2号)

問 小中学校への電子黒板及び学習支援ソフトの導入について、国がICTに動けばこんなに早く変わるのかと驚いている。65型の電子黒板ということだが、もっと大きいものを導入するの可想っていい。

答 画面に映すものは大きくも小さくもでき、子ども達は手元にあるタブレットと同じ画面を見ることが出来る。また、一度授業で作ったものを保存できるので、別のクラスで利用ができ、黒板に書く時間や教材を事前に準備する時間が短縮できる。学習支援ソフトには、教材や小テストも入っているので即時に出すことができる。

問 HPVワクチンキャッチアップ事業について、周知はどのように行うのか。

答 勧奨していなかった期間の対象者を抽出し、個人通知を行う。

《委員から意見》 広報でもっと取り上げるなど、接種率が上がるよう周知をしてほしい。

《議案以外》

学校給食について

《委員から意見》 子ども達には、農業や添加物が少ない安全性の高いものを食べさせたいと思う。

《委員から意見》 たくさん農業を使ったものを食べていても本物の味はわからない。小さい時に味を覚えていくので、おいしい本物を食べさせるためにお金をかけて食育をしていくべきではないか。そうすることで、農家や地域も変わっていくと思う。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



宮原雄一委員長

《執行部からの説明》

熊本宇土道路

令和4年度の国の当初予算は2億円であり、前年度より1億円増額されている。用地進捗率、事業進捗率については、前回の報告から進捗はあつていない。

今年度の事業内容については、工事で「海路口地区取得用地管理工事」、「城塚地区取得用地管理工事」などが計画されており、調査設計では、現在、熊本宇土道路と宇土道路の間を1つの業務として「令和4年度 宇土道路外水調査業務」として「令和4年度 緑川大橋橋梁修正設計業務」が入札に伴う公告が行われている。

宇土道路

令和4年度予算については、35億円であり、前年度当初予算より13億1,200万円の増額となっている。用地進捗率については、前年度から7ポイント増加し約96%。また、事業進捗率についても前年度から12ポイント増加し約41%となっている。

事業内容は、まず令和2年度から引き続き実施されている「熊本57号笹原トンネル新設工事」は令和5年1月末までの工期に変更はなく、6月1日時点で223メートル進んでいる。

次に、令和3年度からの繰越事業について、工事では「熊本57号 網津地区5号工事用道路3期工事」、「熊本57号 城塚地区改良12期工事」の2件が実施されている。そのほか、「熊本57号 平原地区2号工事用道路外工事」など6件の契約締結がなされている。用地補償では、「令和3年度国道57号宇土道

路用地関係資料作成業務」で契約期間の延長が行われている。また、「令和3年度国道57号宇土道路長浜地区外補償説明業務」は前回の報告から変更はあつていない。

次に今年度の事業内容について、調査設計では、「令和4年度宇土道路外水調査業務」が実施されている。

用地補償では、「令和4年度宇土道路裁決申請図書作成等業務」が入札に伴う公告が行われている。

宇土三角道路

令和4年度予算については、1億円であり、前年度当初予算と同額である。

用地進捗率は0%。事業進捗率は約1%となっている。

事業内容としては、前年度から繰り越された事業として、「令和3年度 熊本天草幹線道路(その3、その4、その5)測量業務」について、引き続き実施されている。また、「令和3年度 熊本天草幹線道路地質調査(その1、その2)業務」の2件で契約締結が行われている。

《主な質疑》

問 緑川大橋の修正設計が始まるというのがどのようなものか。

答 数年前に橋梁の設計基準が変わったということ、その基準に合わせての修正設計と聞いている。

問 (仮称)城塚インターチェンジ周辺の土地利用計画の進捗状況及び(仮称)網田インターチェンジ周辺の計画はどうなっているのか。

答 今後の土地利用計画の進捗をみながら、可能な範囲で説明したい。

《委員から意見》 (仮称)城塚インターチェンジと(仮称)網田インターチェンジの完成後、従来の国道57号は誰も通らない道になってしまう。グラウンドデザインを作り、対策はきちんととっていただきたい。

問 城塚で山肌が見えて急傾斜になっているところがある。安全を期して事故がないよう国土交通省に伝えてほしい。

答 安全対策強化をしっかりと伝える。

視察研修報告 総務市民常任委員会

1 群馬県富岡市（令和4年5月17日）

・乗合タクシー「愛タク」について

富岡市では、令和3年1月から交通空白地の解消等を目的として、デマンド型乗合タクシー「愛タク」を運行しています。

電話またはスマートフォンアプリからの乗車予約が可能で、利用者数も多く、時間帯によっては、予約が殺到することもあり、今後も運行方法の見直しや予約アプリの改良を行っていききたいとの話がありました。

宇土市においても、デマンドバスの運行を行っており、今後の運行の参考になりました。

2 埼玉県秩父市（令和4年5月18日）

・IT 関連オフィス開設補助金及びコワーキングスペース「働空間」について

秩父市の「IT 関連オフィス開設補助金」は、サテライトオフィス等の誘致のために、開設資金の一部経費を補助する事業です。令和3年7月より申請受付を開始され、昨年度は、3社からの申請がありました。

また、「コワーキングスペース『働空間』」は、テレワークやオンライン授業受講等の場として、市が民間業者に委託し、令和元年5月に開設されました。ビジネスマンから学生まで世代を問わず、年間延べ4千人以上の方が利用されています。

コロナ禍での「新しい生活様式」に対応した働き方の場の整備について、先進的な取組をされており、参考になりました。



【視察研修参加者】

園田茂 委員長／佐美三洋 副委員長／中口俊宏 委員／
宮原雄一 委員／今中真之助 委員／杉本裕治 総務部長／
加藤敬一郎 企画部長／野口泰正 市民環境部長

視察研修報告 文教厚生常任委員会

1 愛知県豊橋市（令和4年5月19日）

・子ども若者総合支援センター「ココエール」について

豊橋市では、平成29年度から児童と若者に関する一体的な相談窓口を設置し、子どもと若者、その家族を対象に、関係機関と協力・連携し、あらゆる相談等に対応されています。専門的で継続的な支援体制が図られており、妊娠期から若者期まで切れ目のない多様な支援が行われていました。

宇土市でも「ふくしの総合相談窓口」の設置が検討されており、参考になる先進的な取組でした。

2 三重県鳥羽市（令和4年5月20日）

・統一標準服及び準制服について

鳥羽市では、中学校の統合が進められる中、令和3年度に市内統一の標準服が導入され、併せて、着替え用のズボン（準制服）にユニクロを採用されています。

新標準服の選定においては、ジェンダーフリーで安価な視点及び、児童生徒と保護者の意見を重視されていました。5年程度は旧標準服との混合着用期間とされており、旧標準服を使用する生徒への配慮や教師への指導にも取り組まれていました。

多様性、機能性及び経済性などに優れた取組を聞くことができ参考になりました。



【視察研修参加者】

野口修一 委員長／平江光輝 副委員長／芥川幸子 委員／
櫻崎政治 委員／柴田正樹 委員／嶋本主人 委員／
岡田郁子 健康福祉部長／山口裕一 教育部長

視察研修報告 議会だより編集委員会

令和4年4月28日に和歌山市において、議会だよりの編集・発行について行政視察を行いました。

視察研修では、平成29年度に議会広報の改革を行い、「見やすい、読みやすい、親しみのある紙面づくり」を心掛け、近年力を入れているSNSでの発信、例えば和歌山市出身の著名人の市議会応援メッセージをYouTubeで配信するなど、動画をふんだんに取り入れてあり、いかに市民の興味を引き、手に取ってもらえるかを念頭に置く記事作りは、参考になる部分が多いと感じました。

議会だより編集委員会では、市民の皆様手に取っていただける紙面を作るため、研修で学んだことを今後の編集に役立てていきたいと思えます。



【視察研修参加者】

櫻崎政治 委員長／野口修一 副委員長／園田茂 委員／
西田和徳 委員

令和4年6月宇土市議会定例会議決結果一覧

賛否のわかれた議案等

提出者	件名	議決結果	表決数 賛成-反対	宇土、みらい 六政会 宇土市政研「志」																				
				嶋本 主人	櫻崎 政治	村田 宣雄	小崎 憲一	宮原 雄一	山村 保夫	今中真之助	西田 和徳	野口 修一	中口 俊宏	佐美三 洋	園田 茂	柴田 正樹	平江 光輝	藤井 慶峰	芥川 幸子	杉本 信一	福田 慧一			
市長	第41号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第7号 宇土市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	承認	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第53号	令和4年度宇土市一般会計補正予算(第2号)について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	第54号	令和4年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	第55号	令和4年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	第56号	令和4年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	第57号	令和4年度宇土市水道事業会計補正予算(第1号)について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○=賛成又は採択,●=反対又は不採択,欠=欠席,退=退席,除=除斥※議長職の中口俊宏議員は、可否同数の場合のみ裁決するため、「-」と表示しています。

全員賛成の議案等

提出者	番号	件名	議決結果
市長	第38号	財産の取得について	可決
市長	第39号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第5号 令和3年度宇土市一般会計補正予算(第17号)について	承認
市長	第40号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第6号 宇土市税条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第42号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第7-2号 令和3年度宇土市公共下水道事業会計補正予算(第3号)について	〃
市長	第43号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第8号 宇土市固定資産評価員の選任について	〃
市長	第44号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第9号 令和4年度宇土市一般会計補正予算(第1号)について	〃
市長	第45号	宇土市条例の読点の表記を改正する条例について	可決
市長	第46号	宇土市工場立地法地域準則条例について	〃
市長	第47号	宇土市税条例等の一部を改正する条例について	〃
市長	第48号	宇土市税特別措置条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第49号	宇土市芝光苑民間譲渡先選定委員会設置条例について	〃
市長	第50号	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について	〃
市長	第51号	財産の取得について	〃
市長	第52号	宇土市道路線の認定について	〃
市長	第58号	令和4年度宇土市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について	〃
市長	第59号	宇土市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意
市長	第60号	令和4年度宇土市一般会計補正予算(第3号)について	可決
議員	発議第4号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	〃

報告

報告番号	件名
第2号	令和3年度宇土市一般会計継続費繰越計算書の報告について
第3号	令和3年度宇土市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
第4号	令和3年度宇土市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
第5号	令和3年度宇土市水道事業会計継続費繰越計算書の報告について
第6号	令和3年度宇土市水道事業会計予算繰越計算書の報告について
第7号	令和3年度宇土市公共下水道事業会計継続費繰越計算書の報告について
第8号	令和3年度宇土市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
第9号	宇土市土地開発公社の経営状況の報告について
第10号	専決処分の報告について 専決第4号 損害賠償額の決定について

請願・陳情

受理番号	件名	議決結果
令和4年 陳情 第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める陳情書	採択

市議会議員表彰

令和4年6月定例会の開会日冒頭に、本会議場において、表彰状の伝達が行われました。内容は、全国市議会議長会会長から、藤井慶峰議員が市議会議員として在職15年の表彰状、中口俊宏議員が全国市議会議長会評議員としての功績に対する感謝状を授与されたものです。



藤井議員



中口議員

熊本天草幹線道路の現地視察をしました

4月21日に、地域高規格道路促進等対策特別委員会で、笹原トンネルや、現在、工事が行われている箇所の現場視察を行い、工事の内容や進捗状況、また、どの辺りに道路が建設されるかなどの説明を国土交通省から受けました。

市議会では、平成10年に「地域高規格道路促進等対策特別委員会」を設置し、熊本天草幹線道路の早期開通に向けて取り組んでいます。



笹原トンネル内部の様子

第98回全国市議会議長会定期総会が開催されました

5月25日に、第98回全国市議会議長会定期総会が東京で開催されました。会議には中口俊宏議長が出席し、九州部会提出議案の「九州における高速交通網等の整備促進について」を説明しました。

総会では、部会、会長選出の計32議案がいずれも可決され、各議案に盛り込まれた要望の実現を国に強く働きかけていくこととなりました。



議案説明の様子

編集後記

春からのロシアのウクライナ侵攻は、“21世紀にまさか戦争が起こるとは！”，と多くの人たちが思ったことでしょう。しかし振り返るに、太平洋戦争終結後も、朝鮮戦争、中東紛争、ベトナム戦争、アフガン侵攻、クウェート侵攻、コソボ紛争、世界ではずっと戦いが続いています。かつて日本も戦争をした歴史がありますが、元海軍の父から「戦争は、決してやってはいけない」と教えられました。もうすぐ8月15日、今年の終戦記念日は、平和のありがたさと、世界平和を願う日になります。ロシアのウクライナ侵攻の終結と平和的解決を願っています。

編集委員

委員長／樫崎政治 副委員長／野口修一
委員／園田 茂 委員／西田和徳

市議会の傍聴のご案内

6月定例会から新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、一般傍聴を通常通りとしました。

今後の感染状況によっては、再度自粛をお願いする可能性がありますので、9月市議会定例会の傍聴につきましても、市議会ホームページを御覧になるか、議会事務局までお問い合わせください。

市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議（定例会・臨時会）の会議録を公開しています。

[アドレス] <https://www.city.uto.lg.jp/>

本会議の会議録(冊子)は、市情報公開コーナー（仮設庁舎1階ロビー）、市立図書館で閲覧できます。

なお、令和4年6月定例会の会議録は、令和4年9月定例会以降に閲覧可能です。

[お問い合わせ] 市議会事務局 0964-22-1111 内線234



令和4年9月 定例会会期日程

9月定例会の日程は、市議会ホームページを御覧になるか、議会事務局までお問い合わせください。広報うと9月号にも掲載しています。



環境保護印刷の
水なし印刷で
印刷しています。

印刷/敷島印刷株式会社